



## ○令和7年度 都漁連通常総会を開催

6月25日、都漁連水産会館において通常総会を開催しました。「令和6年度事業報告他」(第1号議案)、「令和7年度事業計画」(第2号議案)など提案された全6議案が可決されました。

### 【事業報告関係】

令和6年度の経営状況は、燃油等を取り扱う購買事業、水産物の買取・受託販売を取り扱う販売事業、水産会館等の貸室事業などが会員の協力により計画どおり推移した。老朽化に伴う施設整備費が嵩みましたが、各種経費の削減に努め、結果200万円余りの当期剰余金を計上することとなりました。

購買事業については、員外燃油が減少し、4,778k1と前年(5,158k1)より380k1減、取扱金額も15,936千円減の660,892千円でした。漁業用資材・氷等の取扱金額は、66,194千円で前年度と比較して9,977千円の増でした。

販売事業については、冷凍・加工や未開発市場への販路開拓等に努めたが、令和5年度の平均単価1,531円に対し、令和6年度は1,486円と2.9%の減少となりました。水産物取扱実績は、数量が1,042tで前年(980t)と比べて6.3%の増加、金額は15億4,802円で3.1%の増加となりました。

取扱量が多かった水産物は、キンメダイが414.7tで鮮魚全体の50.0%を占めており、次いでハマダイが81.7t、キハダが77.9t、カツオが52.7tとなっています。クロマグロの漁獲量については、令和5年度の28.9tに対し、35.6t(23.1%増)でしたが、資源回復での漁獲枠の増大と全国的な好漁などで、単価が3,392円と前年(3,893円)と比較して12.8%減となりました。

## ○会員漁協が通常総会を開催

3月決算の組合が通常総会を開催しました。

### ◆開催期日

6月9日	小笠原母島	6月11日	佃島
6月17日	中央隅田	6月18日	芝
6月19日	東京東部	6月20日	大田
6月24日	港	6月26日	伊豆大島
6月30日	御蔵島村	6月30日	八丈島

## ○黒潮大蛇行が終息する兆し

2017年8月から過去最長7年9か月続いていた紀伊半島から東海沖の黒潮大蛇行は、5月8日現在みられなくなり、この状態が持続して大蛇行が終息する兆しがあることが気象庁より発表されました。黒潮の流路は、船舶の運航や、魚種・漁場の位置、沿岸の海洋環境等にも影響を与えるので、注意を呼び掛けています。



気象庁 HP



海上保安庁 HP

## ○令和6年度水産白書を公表

6月6日、「令和6年度水産白書」が公表されました。

今回の白書では、「海洋環境の変化による水産業への影響と対応」を特集として取り上げているほか、トピックスとして令和6年能登半島地震からの復旧に向けた動き、漁業法及び水産流通適正化法の一部改正、赤潮による被害の継続の3つを記述しています。



水産庁 HP

○流通センター取扱実績報告 (4-6 月期)

4 - 6 月期	令和 7 年度			令和 6 年度			備 考
魚種	取扱 数量 (トシ)	金額 (百万円) (税込)	単価 (円) (A)	取扱 数量 (トシ)	金額 (百万円) (税込)	単価 (円) (B)	前年差(円) A-B=C
キンメダイ	141.5	222.3	1,571	150.9	234.0	1,550	21 101.4
メ ダ イ	9.3	5.9	632	24.1	13.2	547	85 115.5
キ ハ ダ	36.9	20.8	565	26.6	15.8	593	-28 95.2
オ ナ ガ	34.5	46.8	1,358	26.8	37.7	1,406	-48 96.6
ム ツ	1.5	4.2	2,773	8.9	20.9	2,348	425 118.1
そ の 他	99.9	80.2	802	127.2	88.9	698	104 114.9
合 計	323.6	380.2	-	364.5	410.5	-	-

《編集・発行》 都漁連指導室  
 TEL 03-3458-4236  
 e-mail shidoo@tokyo-gyoren.or.jp